

アジア官民会議の概要

アジア官民会議の開催目的と概要

本会議は、アジアを含めて国際的な自動車基準の調和への取組みを促進することを目的として、アジア地域における自動車先進国であるわが国が平成10年より開催している。

本会議を通じて、自動車基準調和を推進する世界唯一のフォーラムであるWP29への参加を促し、自動車の環境・安全問題の解決と基準・認証制度の国際的な調和を支援することにより、アジア諸国における自動車交通にかかる環境の保全・安全性の向上を図るとともに自動車・自動車部品の開発・生産・認証にかかるコストを低減するなど、アジア地域の健全なモータリゼーションの進展に貢献しようとするものである。

これまでの9回の会議において、WP29への参加及び58年協定への加盟の重要性が参加各国の共通認識として確認され、これらの実現に向けて活発な議論が行われている。

第10回の成果

第10回の会合においては、ダトゥ・ダグラス・ウガー運輸省副大臣により、58年協定への加盟と環境・安全問題への取組みが重要である旨表明されたとともに、自動車基準の調和と相互認証について活発な議論が交わされた。

その結果、

- 1) マレーシア及びタイの58年協定加盟実現が目前であるなど、各国の協定加盟が現実のものとなる中で、アジアにおける58年協定下での相互承認を各国間で具体的に議論していくこと。
- 2) アジアのWP29参加国の拡大とアジアの実態の発信を通じて、58年協定による技術規則策定/改定に関わっていくこと。
- 3) これまでにインドネシア及びタイで開催された、各国によって主体的に開催される技術的専門家会議を継続していく等、アジアの連携強化を図り、新しい官民会議のあり方について議論していくこと。

について共通認識が得られた。

参加国及び地域：中国、インド、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、台湾、香港、日本、オーストラリア、
(はオブザーバー)

出席者：各国の自動車関連行政機関（運輸、環境など）関係者
(日本からは、国土交通省自動車交通局技術安全部
技術企画課国際業務室長 他1名が参加)
各国の自動車関連民間団体関係者
自動車工業会
自動車部品工業会 など
(全体で約170名、うち日本から26名が参加)

開催期間：平成17年11月29日（火）～30日（水）

場 所：クアラルンプール（マレーシア）

主催者：自動車基準認証国際化研究センター（JASIC）・マレーシア国運輸省

後 援：日本国国土交通省

過去の議題：第1回会合（東京） 自動車の認証制度のあり方について
第2回会合（北京） 自動車の基準調和のあり方について
第3回会合（東京） 基準調和と認証の相互承認の実現に向けた行動計画策定について
第4回会合（バンコク） WP29への参加の実現と拡大について
第5回会合（クアラルンプール） WP29への参加を阻害する要因及びその解決策について
第6回会合（ジャカルタ） WP29への参加を阻害する要因及びその解決策について
第7回会合（マニラ） WP29の下での基準調和及び相互承認への具体的な課題について
第8回会合（ハノイ） WP29加盟に向けた各国の今後の活動のあり方について
第9回会合（バンコク） WP29加盟に向けた各国の今後の活動のあり方について